

リサイクルポート推進協議会（平成 29 年 11 月 29 日発行）

■先週・今週の報道発表

1. 国内資源循環確保に向けたプラスチックリサイクル体制整備の緊急支援について
2. 有害使用済機器の保管等に関する技術的検討会（第 4 回）の開催について

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 広報部会からのお知らせ
2. NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターからのお知らせ【再掲】
3. 循環資源技術説明会のお知らせ
4. 災害廃棄物対策に関するシンポジウムのお知らせ【環境省より】【再掲】

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート施策を高度化、研究会立ち上げ
2. 広島港長期構想、五日市・廿日市地区部会の第 3 回検討委を開催

=====

◇先週・今週の報道発表

詳細につきましては URL をご確認ください。

1. 国内資源循環確保に向けたプラスチックリサイクル体制整備の緊急支援について
<http://www.env.go.jp/press/104821.html>

2. 有害使用済機器の保管等に関する技術的検討会（第 4 回）の開催について
<http://www.env.go.jp/press/104810.html>

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 広報部会では、当協議会の会員宛に対しアンケートを行い、会員各位のご意見などを集約し、今後の広報活動の参考にしたいと思います。
アンケートが配信されていますので、ご協力お願い致します。

(締切り期限が過ぎていますが、現在も受付けております。)

.....

- 2.山形県酒田港ポートセミナーin 東京についてご案内致します。【再掲】
添付の「山形県酒田港ポートセミナーin 東京」をご参照ください。

.....

3.循環資源技術説明会開催のお知らせ

当協議会循環資源利用促進部会では、港湾関連コンサルタント会社等を対象に、『循環資源技術説明会』を予定します。添付のプログラム案をご参照の上、参加ご希望の方は添付のお申込書にご記入いただき、メールもしくはFAXにて事務局までお送りください。

日程：11月30日(木)

時間：13:30～16:30

会場：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズフロント店 5階A会議室

.....

4.災害廃棄物対策に関するシンポジウムのお知らせ【環境省より】【再掲】

・12月14日 13時～14時

・場所：砂防会館別館

～詳細は下記URLをご参照ください～

<http://www.env.go.jp/press/104777.html>

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート施策を高度化、研究会立ち上げ

国土交通省港湾局はリサイクルポート施策の新たなニーズへの対応方策を探るため11月24日、「リサイクルポート施策の高度化研究会(座長・勝見武京都大学大学院教授)」を立ち上げ議論を開始した。

年度内に合計3回の会合を持ちリサイクルポート施策の高度化に向けた方向性をまとめる予定。

リサイクルポートによって循環資源の内航貨物取扱量は、施策開始前（平成13年度）に比べ指定港以外では25%程度減少しているのに対し、指定港は38%増加。また平成29年度までにリサイクルポートにおける循環資源の国内シェア40%を目標としていたが、平成25年度に4年前倒しで達成した。またリサイクルポートにおけるリサイクル関連企業立地企業数は90社増加（平成13年度比で70%増加）するなど、所定の成果を上げてきている。

ただリサイクルポートにおける循環資源取扱量やリサイクル関連企業立地数は近年、横ばいで推移しているほか、バーゼル法や廃棄物処理法などの関係法令、港湾における循環資源取り扱いの運用、災害対応などが課題になっている。また循環資源の輸出先等の物流市場の環境変化もあり、現状では循環資源の国内、国際の新しい動きに対応できていないのが実情。

このため港湾局では社会情勢の変化や制度の動向を踏まえ、リサイクルポートにおける循環資源の円滑な取り扱いの確保や更なる活性化を図るため今回、リサイクルポート施策の高度化を図るための検討を開始した。

当日は第1回の研究会として、▽鉄スクラップ輸出の現状・課題について、（一社）日本鉄リサイクル工業会からヒアリングしたほか、▽港湾での雑品スクラップ対策として、福岡市港湾空港局から、博多港におけるスクラップ輸出の現状と課題について聴いた。

—

2. 広島港長期構想、五日市・廿日市地区部会の第3回検討委を開催

広島県は広島港の次期港湾改訂計画に向けた検討で11月14日、五日市・廿日市地区部会の第3回基本構想検討委員会を開催した。これまで検討してきた①物流・産業、②人流・賑い、③安全・安心の柱に沿って、空間利用計画や港湾計画方針、施設配置案などについて議論した。

広島港五日市・廿日市地区部会の第3回基本構想検討委員会では、これまで議論してきた概ね30年後の将来像を踏まえ、10年後の施設及び土地利用計画案について議論した。このうち物流・産業に関わる事項では、廿日市地区においてLNG輸入の満載入港を可能にする水深14m岸壁への増深（現状12m）や、バイオマス燃料輸入・移出、原木・製材輸入・

移出等に対し満載入港を可能とする新しいふ頭の確保など。

また五日市地区では完成自動車や産業機械等のユニットロード貨物が取扱われている現状に鑑み、広島港西部のユニットロー取り扱い拠点として、五日市地区の港から直接海外に輸送する新たな外貿埠頭の整備・再編(水深 12m外航PPC船ふ頭など)やドライバー不足に伴うモーダルシフトの進展に対応した内航RORO貨物取扱拠点の形成等が挙げられた。

【港湾空港タイムス 11月27日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。